

IJCAD

IJCAD ネットワークライセンス(RLM)
セットアップマニュアル_サーバー管理者向け





IJCAD ネットワークライセンス(RLM)セットアップマニュアル_サーバー管理者向け

目次

01 インストールの前に

- 01-01 [動作環境](#).....004
- 01-02 [セットアップの流れ](#).....004
- 01-03 [注意事項](#).....005

02 プログラムのインストール

- 02-01 [プログラムのダウンロード](#)006
- 02-02 [プログラムのインストール](#)007

03 ライセンスの登録

- 03-01 [シングルライセンスサーバー](#)009
- 03-02 [冗長構成ライセンスサーバー](#)..... 017

04 認証コードの発行

- 04-01 [認証コードについて](#)030
- 04-02 [IjRlmManager 設定](#)..... 031
- 04-03 [IJCAD 利用者向け認証コード作成](#)034

05 ライセンス期間の更新方法

05-01	ライセンス期間の更新方法	037
-------	------------------------------	-----

06 ライセンスの移行

06-01	シングルライセンスサーバーの返却	038
06-02	冗長構成ライセンスサーバーの返却	044

07 プログラムのアンインストール

07-01	アンインストール前の注意	050
07-02	アンインストール手順	050

08 ポート番号の変更について

08-01	ポート番号の変更手順	052
-------	----------------------------	-----

改訂履歴

2024年12月2日	IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_セットアップマニュアル_サーバー管理者向け	初版発行
2024年12月16日	IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_セットアップマニュアル_サーバー管理者向け	第二版発行
2024年12月16日	IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_セットアップマニュアル_サーバー管理者向け	第三版発行
2025年5月20日	IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_セットアップマニュアル_サーバー管理者向け	第四版発行
2025年7月17日	IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_セットアップマニュアル_サーバー管理者向け	第五版発行
2025年10月1日	IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_セットアップマニュアル_サーバー管理者向け	第六版発行
2025年10月20日	IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_セットアップマニュアル_サーバー管理者向け	第七版発行
2026年2月2日	IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_セットアップマニュアル_サーバー管理者向け	第八版発行

01 インストールの前に

01-01 動作環境

IJCAD ネットワークライセンスマネージャー(RLM)をご使用いただくためには、以下の動作環境が必要です。

対応 OS

- Windows Server 2019
- Windows Server 2022
- Windows Server 2025

本マニュアルおよび[IJCAD ネットワークライセンス(RLM) セットアップマニュアル_サーバー管理者向け]に載せていない機能は、動作保証の対象外となりますのでご注意ください。

01-02 セットアップの流れ



01-03 注意事項

- ライセンスの登録を行う際は、メールでお送りしたライセンス情報が必要です。
- インストールには「管理者(システムアドミニストレーター)」権限が必要です。
- 本製品は、ポートを 4 つ使用します。
※ 他のアプリケーションで使用されているポートは使用できません。
- 使用するポートがファイアウォール等でふさがれている場合は、開放しておく必要があります。

API Port: (デフォルト値:5053)

WEB Port: (デフォルト値:5054)

CM Port: (デフォルト値:7030)

ISV Port:(デフォルト値:62755)

※ CM Port は送信、受信ポートをどちらも開放が必要です。

他のポートでは受信ポートの開放が必要です。

ポートの設定はデフォルト値でのご利用を推奨しております。

ポート値の設定変更方法は『08:ポート番号の変更について』をご確認ください。

- NIC チーミングには対応していません。
- LAN カードが 2 枚ある場合は、インストール～アクティベーションまでの間 使用しない方のカードを無効にしてください。

無効にしない場合、本プログラムで利用する IP アドレスの明示的な指定が出来なくなりますので、一部プログラムが正常に作動しない恐れがございます。

詳細は下記ヘルプセンター記事をご確認ください。

【ネットワーク(RLM)】IP アドレスが複数設定されているサーバーでのご利用について

<https://support.ijcad.jp/hc/ja/articles/48621399206681>

02

プログラムのインストール

02-01 プログラムのダウンロード

通常、プログラムは IJStore(<https://manage.ijcad.jp/>)よりダウンロードが可能です。外部ネットワークに接続できない環境でご利用いただく場合や、ダウンロード以外の方法でプログラムの入手をご希望の場合は、別売りのインストール DVD をご利用ください。

IJStore(<https://manage.ijcad.jp/>)からインストールを行う場合と、DVD からインストールを行う場合では操作手順が異なります。

◆ IJStore(<https://manage.ijcad.jp/>)からのダウンロード

1. 以下の WEB ページより IJCAD ネットワークライセンスマネージャーのインストーラのダウンロードが可能です。

<https://manage.ijcad.jp/trials/downloads/no-auth>

2. [ダウンロード]をクリックすると、プログラムのインストーラがダウンロードされます。

**◆ DVD からの読み込み**

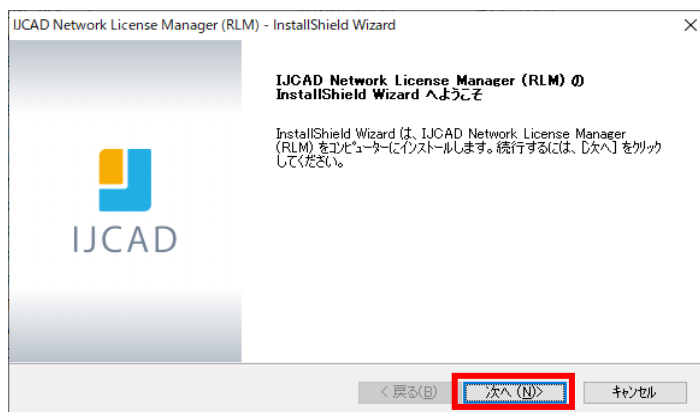
1. パソコンのディスクドライブにインストール DVD を挿入します。パソコンの環境によって以下のようなダイアログが表示されます。その場合は[LoadMenu.exe の実行]をクリックしてください。



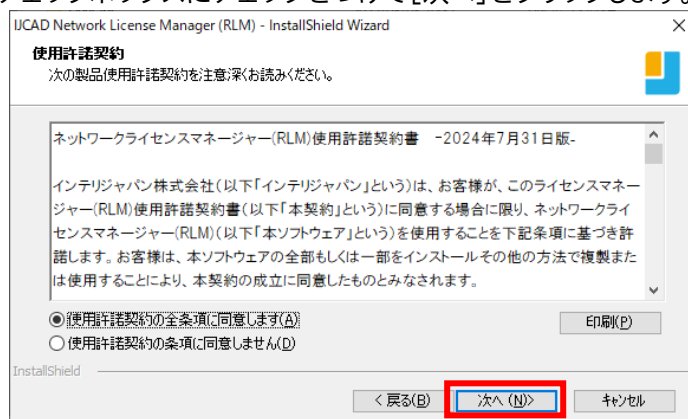
2. [ネットワークライセンスマネージャーセットアップ]のアイコンをクリックし
[IJCAD ネットワークライセンスマネージャー (RLM)セットアップ]のアイコンをクリックすると
インストーラが起動します。

02-02 プログラムのインストール

1. インストーラを展開(解凍)
ダウンロードした IJCAD のインストーラを右クリックし、[すべて展開]をクリックします。
インストーラは、圧縮状態のファイルです。必ず展開(解凍)を行ってください。
2. RLM の実行
解凍したフォルダ内の「IJCAD_RLM_x.x.x.x.exe」を管理者権限で実行します。
(x.x.x.x はバージョン)
3. インストーラの起動
インストーラが起動したら、[次へ]をクリックします。



4. 使用許諾契約の確認
使用許諾契約書をご確認ください。ご同意いただける場合は『使用許諾契約の全条項に同意します』
の チェックボックスにチェックをつけて[次へ]をクリックします。

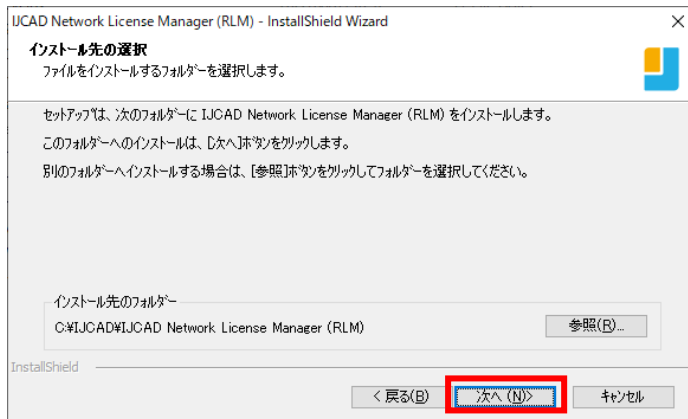


5. インストール先の選択

特に指定がなければ、デフォルトの設定のまま[次へ]をクリックします。[参照]より、インストール先のフォルダを選択することも可能です。

デフォルトパス:C:\IJCAD\IJCAD Network License Manager (RLM)

※ デフォルト指定されたフォルダ以外のフォルダに指定を変更する場合は、必ずルートドライブ直下を指定してください。



6. インストール

インストールが開始されます。



7. インストールの完了

「完了」をクリックして、ダイアログを閉じてください。



03

ライセンスの登録

ライセンスの登録を行います。

ネットワーク版はオンラインアクティベーションでの登録に対応していないため、メールでの申請を行って頂く必要があります。

使用するライセンスサーバーの構成に合わせて、以下のいずれかの手順を参考にセットアップします。

※ メールでのご申請は混雑状況により、ご返信までに 2～3 営業日お時間をいただく場合がございます。

- [シングルライセンスサーバー](#)
- [冗長構成ライセンスサーバー](#)

03-01 シングルライセンスサーバー

インストール後、以下の順番でセットアップを行ってください

1. Lic, Key ファイルの作成と IjRlmManager 設定
2. 新規ライセンスのアクティベーション申請
3. ライセンスの適用

◆ Lic, Key ファイルの作成と IjRlmManager 設定

1. サーバーライセンス管理者ツールの起動

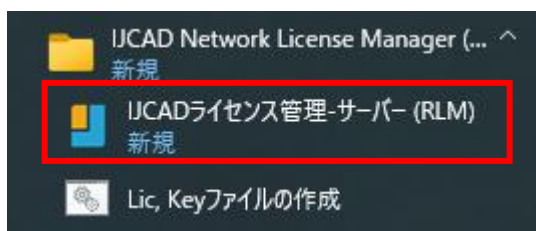
以下の手順にて[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログを開きます。

■Windows Server 2019、2022 の場合

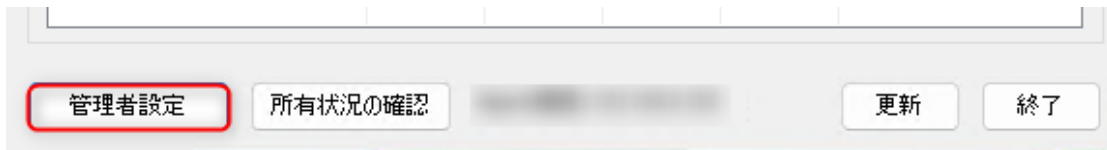
Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。

■Windows Server 2025 の場合

Windows のスタートメニューを開き、[すべてのアプリ]> [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。



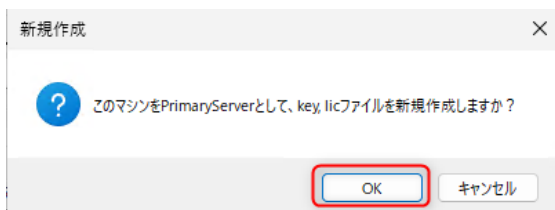
2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



3. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、「新規作成」をクリックします。



4. 「このマシンを PrimaryServer として、key,lic ファイルを新規作成しますか?」と表示されるので「OK」を押します。

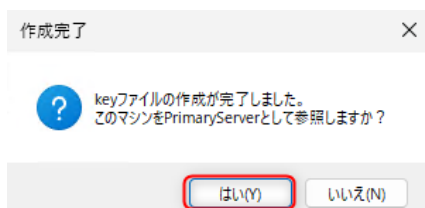


※インストールフォルダに下記ファイルが作成されます。

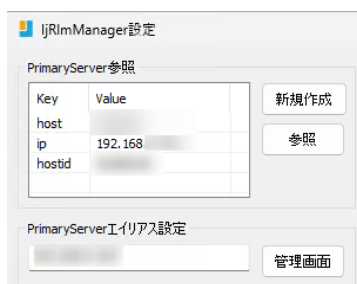
- IjRlmHostInfo_<ホスト名>.key
- IjRlmLicense_<ホスト名>.lic

インストールフォルダ(デフォルトパス)【C:¥IJCAD¥IJCAD Network License Manager (RLM)】

5. 「key ファイルの作成が完了しました。このマシンを PrimaryServer」として参照しますか?」と表示されるので「はい」を押します。



6. [Primary Server 参照] 欄に、サーバーの情報が表示されます。

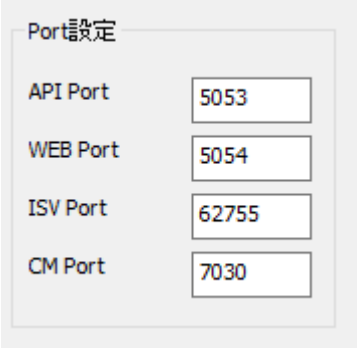


7. ポート設定

使用するポート番号を設定します。

使用するポートがファイアウォール等でふさがれている場合は、送受信ともに開放しておく必要があります。

- API Port
- WEB Port
- ISV Port
- CM Port



Port設定	
API Port	5053
WEB Port	5054
ISV Port	62755
CM Port	7030

CM Port は送信、受信ポートをどちらも開放が必要です。

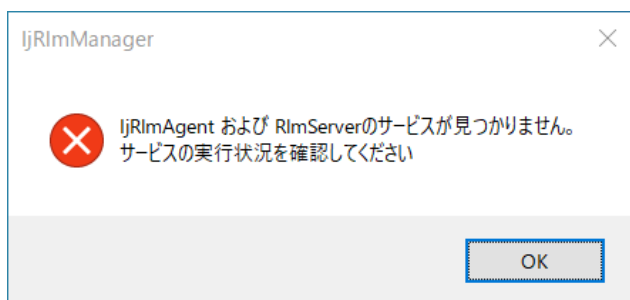
他のポートでは受信ポートの開放が必要です

ポートの設定はデフォルト値でのご利用を推奨しております。

ポート値の設定変更方法は『08:ポート番号の変更について』をご確認ください。

尚、[IJCAD Network License Manager (RLM)]起動時に以下のようなエラーメッセージが表示されることがあります。

初期設定の完了前であれば問題ないため、セットアップが完了するまでは「OK」をクリックし、閉じてください。



◆ ライセンスのアクティベーション申請

1. サーバーライセンス管理者ツールの起動

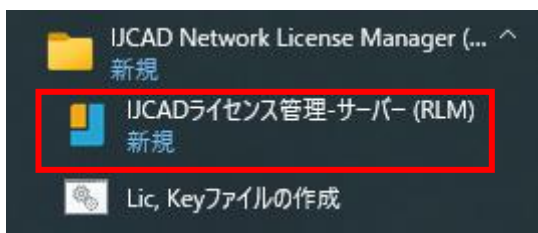
以下の手順にて[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログを開きます。

■Windows Server 2019、2022 の場合

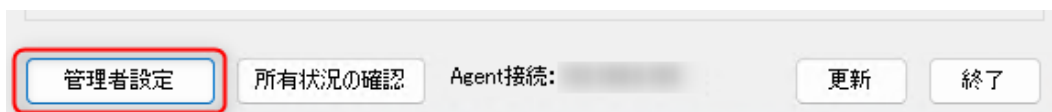
Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。

■Windows Server 2025 の場合

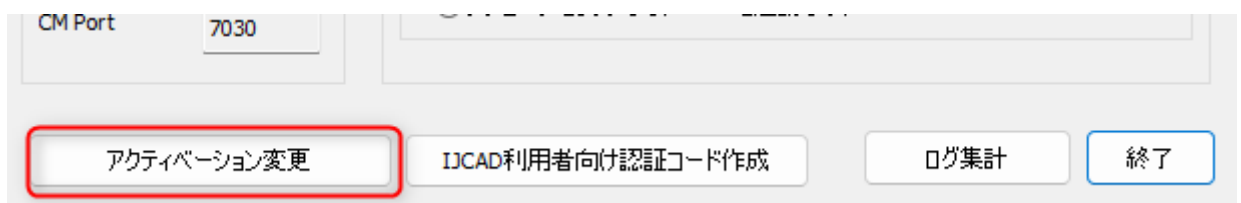
Windows のスタートメニューを開き、[すべてのアプリ]> [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。



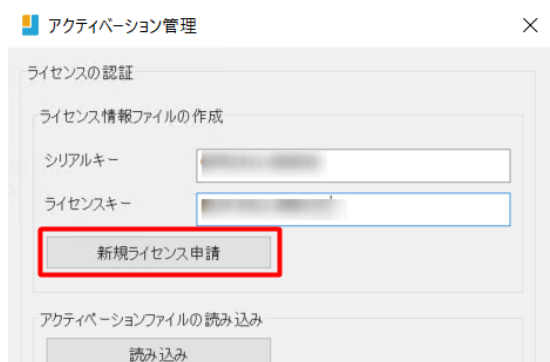
2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



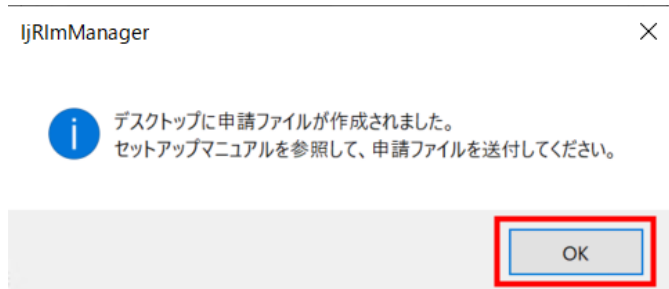
3. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、「アクティベーション変更」をクリックします。



4. [アクティベーション管理]ダイアログが表示されるため、シリアルキーとライセンスキーを入力し、「新規ライセンス申請」をクリックします。



5. 以下のメッセージダイアログが表示されますので、「OK」をクリックして閉じます。
 デスクトップに新規ライセンス申請用のライセンス情報ファイルが作成されます。
 ファイル名:<シリアルキー>_ijrlm_request_new.ijnw



6. メールにて、以下の内容をお送りください。

- 会社名
- ご担当者様名
- 電話番号
- シリアルキー
- ライセンスキー
- ライセンス数

以上をメール本文にご記入の上、保存したライセンス情報ファイルを添付して

activation.support@systemmetrix.jp までお送りください

ご申請後は、返信をお待ちください。

※ 混雑状況によって、ご返信に 2～3 営業日お時間をいただく場合がございます。

◆ ライセンスの適用

1. ライセンス申請許諾メールを受け取り次第、ライセンスの適用を行います。
 お送りしたメールの下部にあるリンク（署名の下の部分）をクリックすると、
 アクティベーションファイルがダウンロードされます。
 ファイル名:『 <シリアルキー>_ijrlm_response_act.ijnw』

```
*****
IJCADライセンスサポート窓口
URL: https://support.ijcad.jp/hc/ja
本件に関するお問い合わせ: activation.support@systemmetrix.jp
*****
```

添付ファイル

[_ijrlm_response_act.ijnw](#)

2. サーバーライセンス管理者ツールの起動

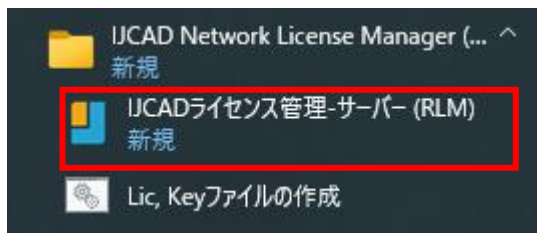
以下の手順にて[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログを開きます。

■Windows Server 2019、2022 の場合

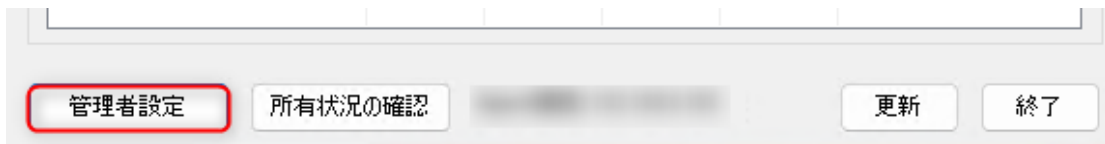
Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。

■Windows Server 2025 の場合

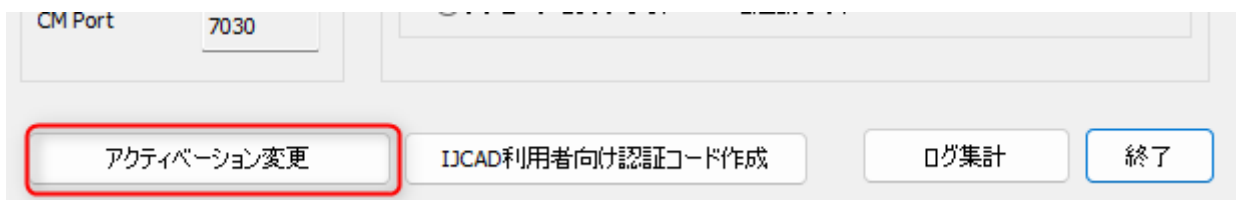
Windows のスタートメニューを開き、[すべてのアプリ]> [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。



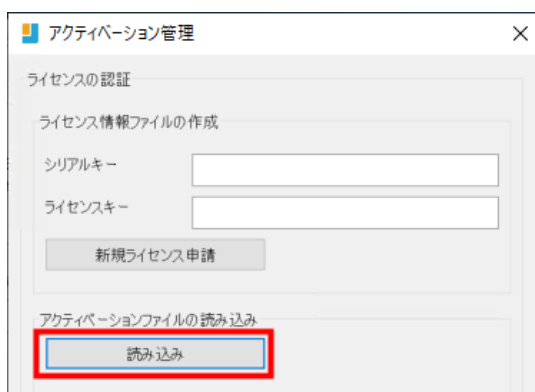
3. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



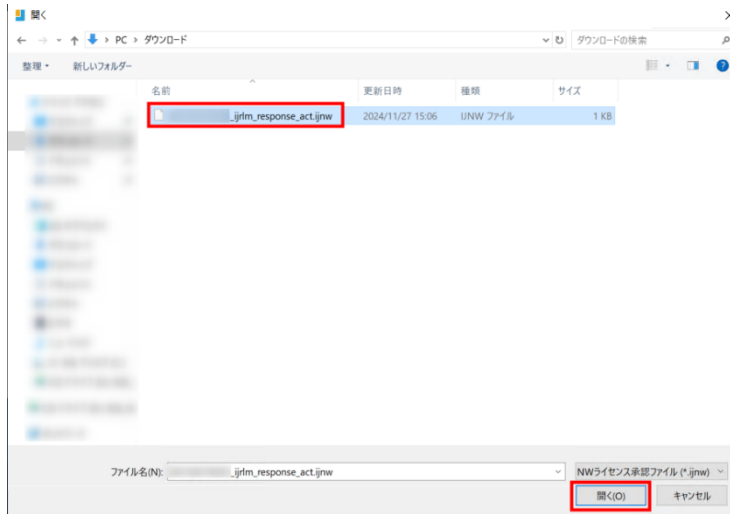
4. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、「アクティベーション変更」をクリックします。



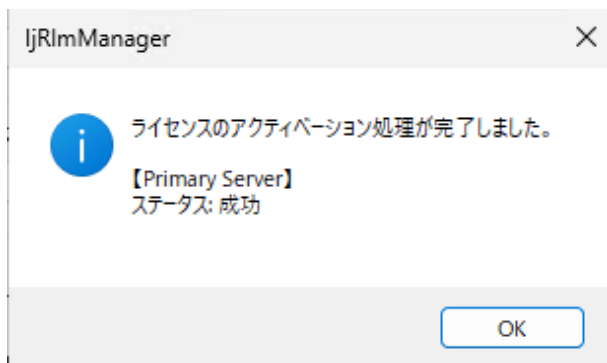
5. [アクティベーション管理]ダイアログが表示されるため、「読み込み」をクリックします。



6. 受領したアクティベーションファイルを参照し、読み込みます。
ファイル名:<シリアルキー>_ijrlm_response_act.ijnw



7. 「ライセンスのアクティベーション処理が完了しました。」というメッセージが表示されます。

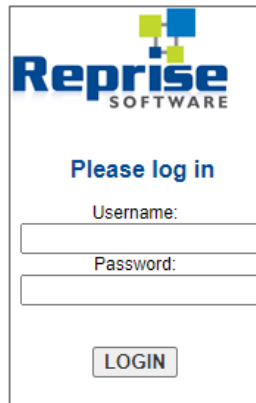


8. [アクティベーション管理]ダイアログは「キャンセル」をクリックして[IjRlmManager 設定]ダイアログに戻り、[PrimaryServer エイリアス設定]の横の「管理画面」をクリックします。



9. RLM の WEB ブラウザが開きますので、ログイン情報を入力します。

- Username: **admin**
- Password: **なし(初期値)**



The image shows the Reprise Software login page. At the top is the Reprise Software logo. Below it, the text 'Please log in' is displayed. There are two input fields: 'Username:' and 'Password:'. Below the 'Password:' field is a 'LOGIN' button.

※ 初回ログイン以降、お客様でパスワードを設定することを推奨します。

設定の手順については、

[IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_運用マニュアル_サーバー管理者向け]の「RLM(WEB ブラウザ)について」>「ログイン設定」をご参照ください。

※ 既定のブラウザが Internet Explorer の場合、

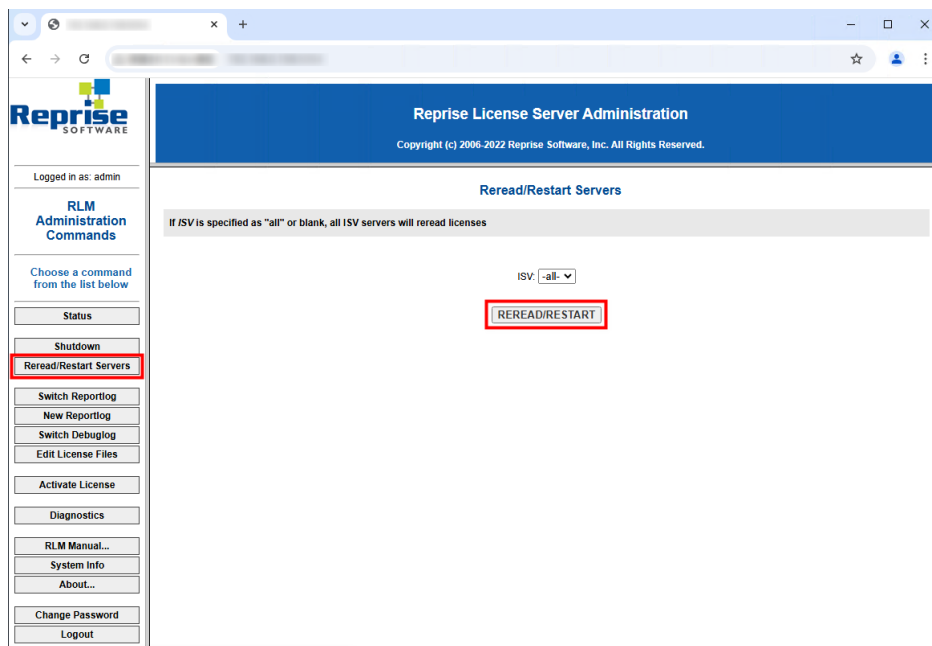
RLM の WEB ブラウザが正しく表示されない場合があります。

Google Chrome または Microsoft Edge をご利用ください。

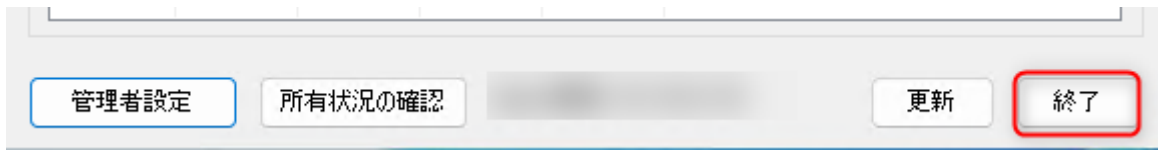
10. RLM サーバーを再起動します。

左部メニューから「Reread/Restart Servers」を選択し、「REREAD/RESTART」をクリックします。画面が切り替わるまでしばらくお待ちください。

「Reread command sent to all servers」が表示されたら、RLM サーバーの再起動は完了です。

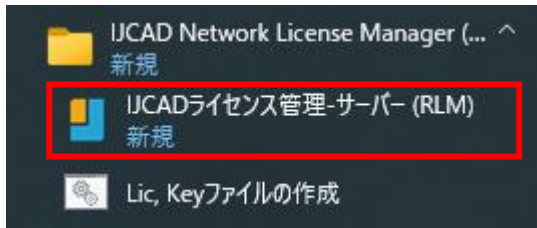


11. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログの右下の「終了」を押してダイアログを終了してください。



12. 再度、サーバーライセンス管理者ツールを起動します。

※起動方法は[手順2](#)をご確認ください。



13. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにライセンスが表示されたら完了です。

IJCAD NWライセンス管理				
PrimaryServer				
製品名	契約数	使用数	借用数	可能数
IJCAD PRO	100	0	0	100
IJCAD STD	100	0	0	100
IJCAD LT	100	0	0	100

03-02 冗長構成ライセンスサーバー

ネットワークライセンス版(RLM)で冗長構成のライセンスサーバーを使用する場合は、フェイルオーバー構成になります。

使用する2つのサーバーを同じサブネット上に用意する必要があります。

- Primary Server:192.168.0.●●
- Failover Server:192.168.0.▲▲

セットアップ前の準備として、Primary Server、Failover Serverとして使用するサーバーそれぞれに対して「IJCAD_RLM_x.x.x.x.exe」をインストールしてください。

以下の順番でセットアップを行います。

1. Lic, Key ファイルの作成及び適用
2. サーバー情報ファイルのコピー
3. IjRlmManager 設定
4. アクティベーション申請
5. ライセンスの適用
6. PrimaryServer への適用
7. Failover Server への適用

◆ Lic, Key ファイルの作成および適用

Primary Server にて、以下の手順を実行します。

1. サーバーライセンス管理者ツールの起動

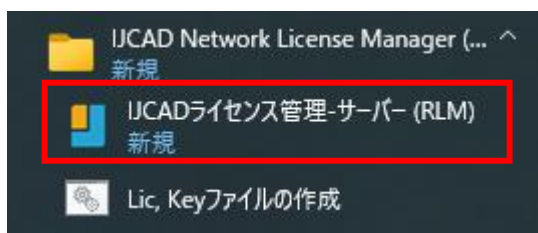
以下の手順にて[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログを開きます。

■Windows Server 2019、2022 の場合

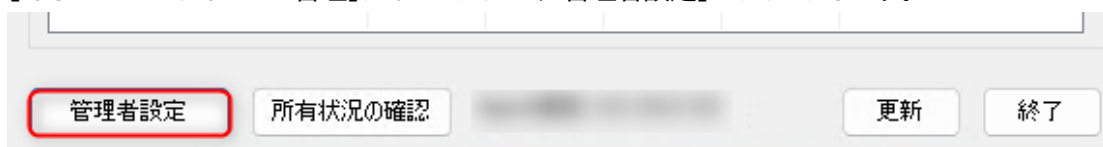
Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。

■Windows Server 2025 の場合

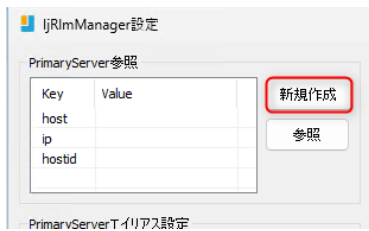
Windows のスタートメニューを開き、[すべてのアプリ]> [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。



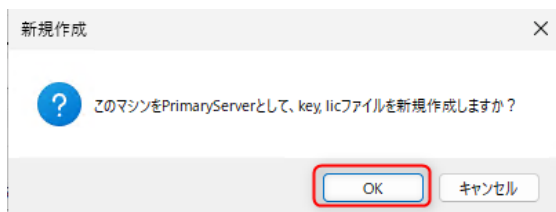
2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



3. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、PrimaryServer 参照の「新規作成」をクリックします。



4. 「このマシンを PrimaryServer として、key,lic ファイルを新規作成しますか?」と表示されるので「OK」を押します。

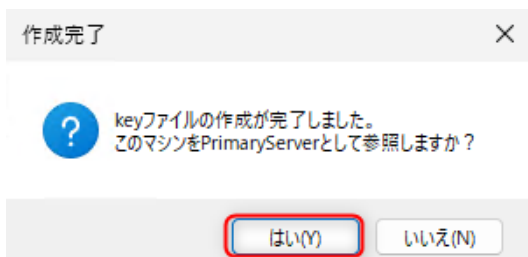


※インストールフォルダに下記ファイルが作成されます。

- IjRlmHostInfo_<ホスト名>.key
- IjRlmLicense_<ホスト名>.lic

インストールフォルダ(デフォルトパス)【C:¥IJCAD¥IJCAD Network License Manager (RLM)】

5. 「key ファイルの作成が完了しました。このマシンを PrimaryServer」として参照しますか?」と表示されるので「はい」を押します。



6. [Primary Server 参照] 欄に、サーバーの情報が表示されます。



7. ポート設定

使用するポート番号を設定します。

使用するポートがファイアウォール等でふさがれている場合は、送受信ともに開放しておく必要があります。

- API Port
- WEB Port
- ISV Port
- CM Port

Port設定	
API Port	5053
WEB Port	5054
ISV Port	62755
CM Port	7030

CM Port は送信、受信ポートをどちらも開放が必要です。

他のポートでは受信ポートの開放が必要です

ポートの設定はデフォルト値でのご利用を推奨しております。

ポート値の設定変更方法は『07:ポート番号の変更について』をご確認ください。

Failover Server にて、以下手順を実施します。

1. サーバーライセンス管理者ツールの起動

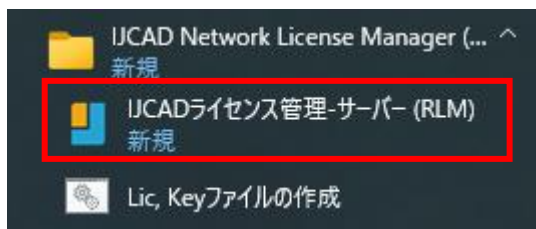
以下の手順にて[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログを開きます。

■Windows Server 2019、2022 の場合

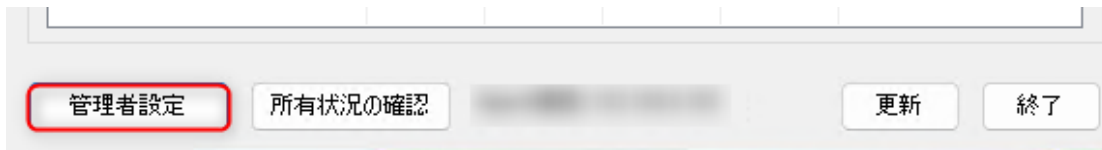
Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。

■Windows Server 2025 の場合

Windows のスタートメニューを開き、[すべてのアプリ]> [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。



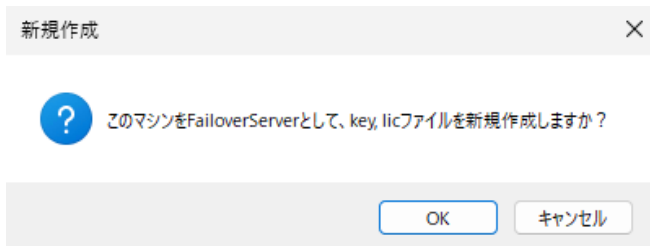
2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



3. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、FailoverServer 参照の「新規作成」をクリックします。



4. 「このマシンを FailoverServer として、key,lic ファイルを新規作成しますか？」と表示されるので「OK」を押します。



※インストールフォルダに下記ファイルが作成されます。

- IjRlmHostInfo_<ホスト名>.key
- IjRlmLicense_<ホスト名>.lic

インストールフォルダ(デフォルト)[C:¥IJCAD¥IJCAD Network License Manager (RLM)]

5. 「key ファイルの作成が完了しました。このマシンを FaioverServer」として参照しますか？」と表示されるので「はい」を押します。



6. [Faiover Server 参照] 欄に、サーバーの情報が表示されます。

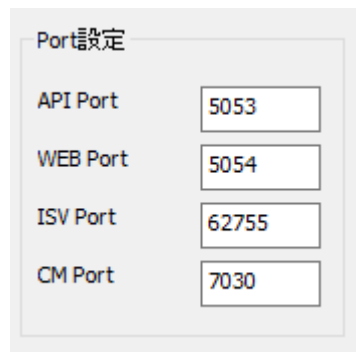


7. ポート設定

使用するポート番号を設定します。

使用するポートがファイアウォール等でふさがれている場合は、送受信ともに開放しておく必要があります。

- API Port
- WEB Port
- ISV Port
- CM Port



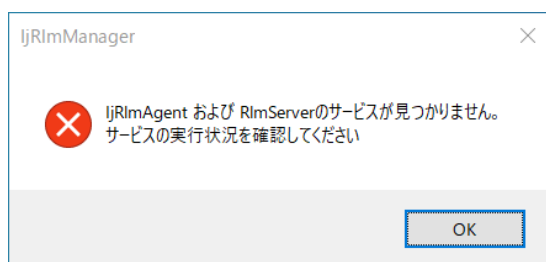
CM Port は送信、受信ポートをどちらも開放が必要です。

他のポートでは受信ポートの開放が必要です

ポートの設定はデフォルト値でのご利用を推奨しております。

ポート値の設定変更方法は『08:ポート番号の変更について』をご確認ください。

※PrimaryServer、Failoverserver 共に、[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログ起動時に以下のようなエラーメッセージが表示されることがあります。初期設定の完了前であれば問題ないため、セットアップが完了するまでは「OK」をクリックし、閉じてください。



◆ サーバー情報ファイルのコピー

ここまでの手順が完了したら、冗長構成にするために必要なファイルのコピーを行います。

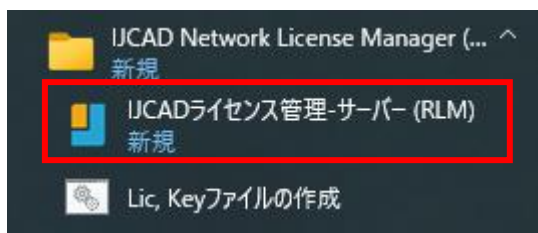
- Primary Server のインストールパスに生成された.key ファイル と .lic ファイルを、Failover Server のインストールフォルダにコピーします。
- Failover Server のインストールパスに生成された.key ファイルを、Primary Server のインストールフォルダにコピーします。
(※Failover Server から Primary Server への.lic ファイルのコピーは不要です)

インストールフォルダ(デフォルトパス)

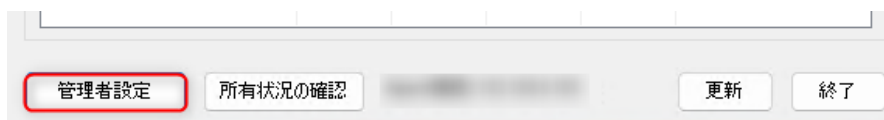
【C:¥IJCAD¥IJCAD Network License Manager (RLM)】

◆ IjRlmManager 設定

1. **Primary Server**にて、サーバーライセンス管理者ツールを起動します。
※起動方法は [Lic、Key ファイル作成時](#)の手順1をご確認ください。



2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



3. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、**FailoverServer 参照**の「参照」をクリックします。



4. 「開く」画面より、**Failover Server** の「IjRlmHostInfo_<ホスト名>.key」を参照して、開きます。

5. PrimaryServer の[Faiover Server 参照] 欄に、サーバーの情報が表示されます。



6. **Failover Server** についても同様に[IjRlmManager 設定]ダイアログを開き、PrimaryServer 参照「参照」をクリックし、「IjRlmHostInfo_<ホスト名>.key」を参照して、開きます。

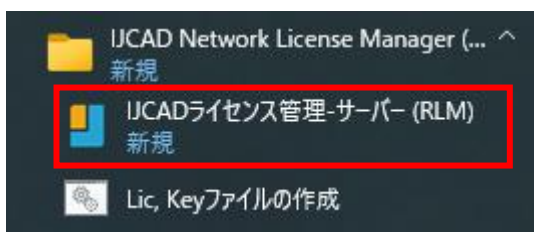
7. FailoverServer の[Primary Server 参照] 欄上に Primary Server の情報が表示されます。



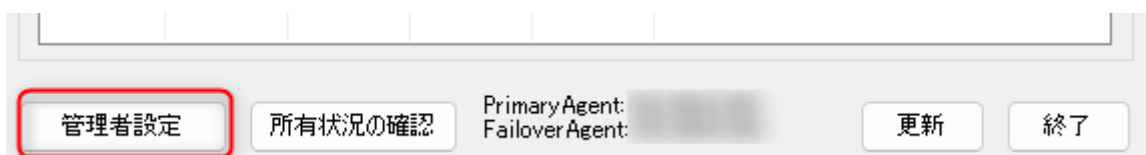
◆ ライセンスのアクティベーション申請

Primary Server で、以下の手順を実行します。(※ Failover Server での作業は必要ありません。)

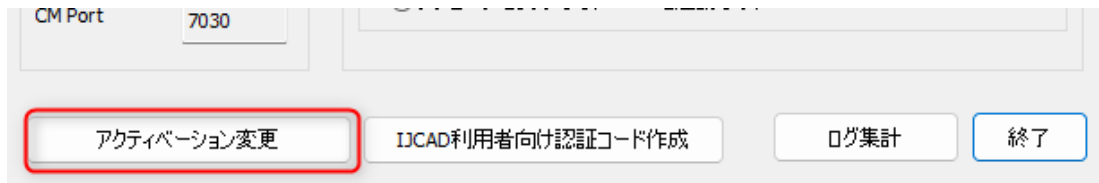
1. サーバーライセンス管理者ツールを起動します。
※起動方法は [Lic、Key ファイル作成時の手順1](#) をご確認ください。



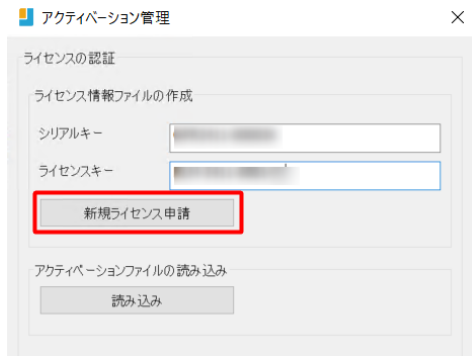
2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



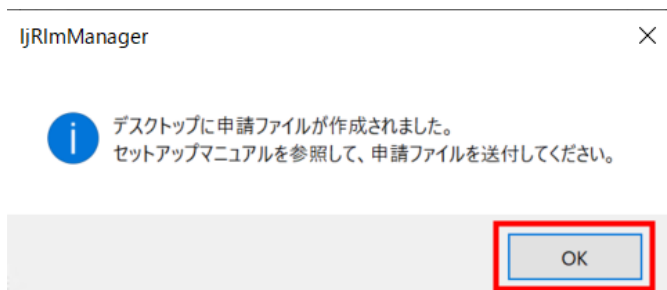
3. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、「アクティベーション変更」をクリックします。



4. [アクティベーション管理]ダイアログが表示されるため、シリアルキーとライセンスキーを入力し、「新規ライセンス申請」をクリックします。



5. 以下のメッセージダイアログが表示されますので、「OK」をクリックして閉じます。デスクトップに新規ライセンス申請用のライセンス情報ファイルが作成されます。ファイル名: <シリアルキー >_ijrlm_request_new.ijnw



6. メールにて、以下の内容をお送りください。

- 会社名
- ご担当者様名
- 電話番号
- シリアルキー
- ライセンスキー
- ライセンス数

以上をメール本文にご記入の上、保存したライセンス情報ファイルを添付して

activation.support@systemmetrix.jp までお送りください

ご申請後は、返信をお待ちください。

※ 混雑状況によって、ご返信に 2～3 営業日お時間をいただく場合がございます。

◆ ライセンスの適用

1. ライセンス申請承諾メールを受け取り次第、ライセンスの適用を行います。
お送りしたメールの下部にあるリンク（署名の下の部分）をクリックすると、
アクティベーションファイルがダウンロードされます。

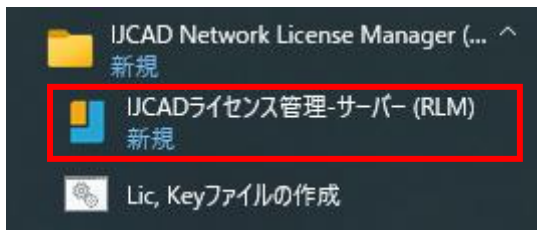
ファイル名: 『 <シリアルキー> _ijrlm_response_act.ijnw』

```
*****
IJCADライセンスサポート窓口
URL: https://support.ijcad.jp/hc/ja
本件に関するお問い合わせ: activation.support@systemmetrix.jp
*****
```

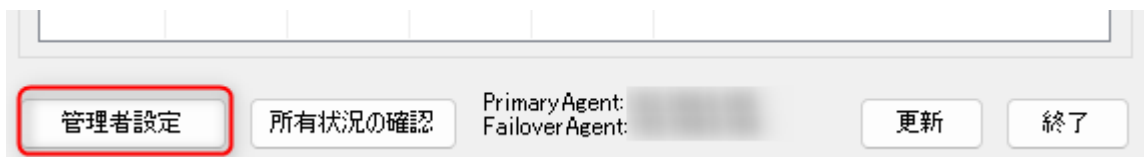
添付ファイル

[_ijrlm_response_act.ijnw](#)

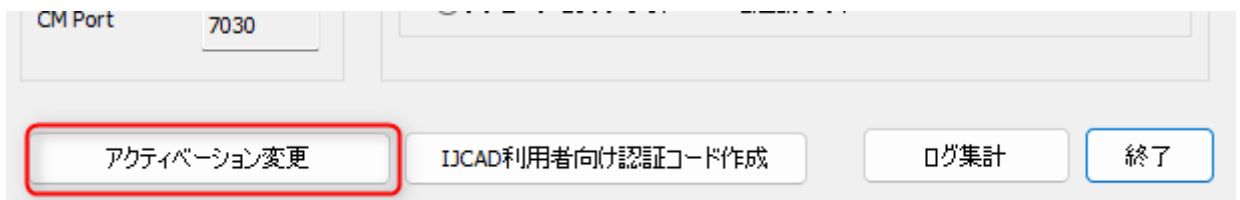
2. サーバーライセンス管理者ツールを起動します。
※起動方法は [Lic、Key ファイル作成時の手順1](#) をご確認ください。



3. [IJCAD NW ライセンス管理] ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



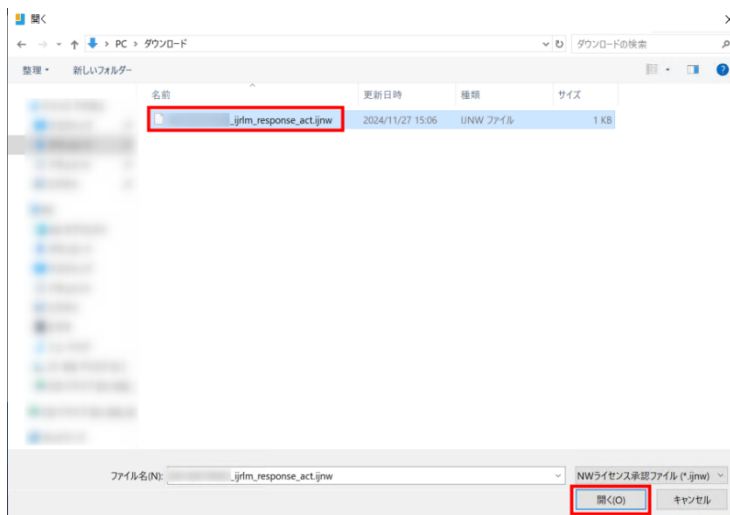
4. [IjRlmManager 設定] ダイアログにて、「アクティベーション変更」をクリックします。



5. [アクティベーション管理]ダイアログが表示されるため、「読み込み」をクリックします。



6. 受領したアクティベーションファイルを参照し、読み込みます。
ファイル名: <シリアルキー>_ijrlm_response_act.ijnw



7. 「ライセンスのアクティベーション処理が完了しました。」というメッセージが表示されます。

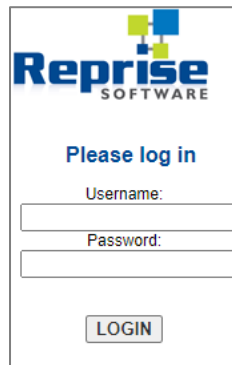


8. [アクティベーション管理]ダイアログは「キャンセル」をクリックして[IjRlmManager 設定]ダイアログに戻り、[PrimaryServer エイリアス設定]の横の「管理画面」をクリックします。



9. RLM の WEB ブラウザが開きますので、ログイン情報を入力します。

- Username: **admin**
- Password: **なし(初期値)**

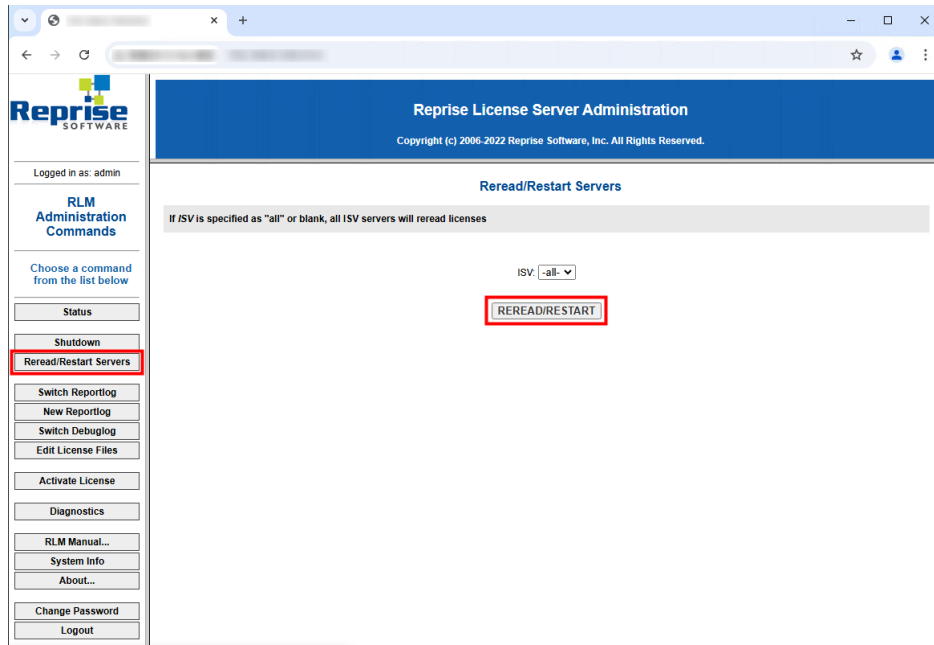


- ※ 初回ログイン以降、お客様でパスワードを設定することを推奨します。
設定の手順については、
[IJCAD ネットワークライセンス(RLM) 運用マニュアル_サーバー管理者向け]の
「RLM(WEB ブラウザ)について」>「ログイン設定」をご参照ください。
- ※ 既定のブラウザが Internet Explorer の場合、
RLM の WEB ブラウザが正しく表示されない場合があります。
Google Chrome または Microsoft Edge をご利用ください。

10. RLM サーバーを再起動します。

左部メニューから「Reread/Restart Servers」を選択し、「REREAD/RESTART」をクリックします。画面が切り替わるまでしばらくお待ちください。

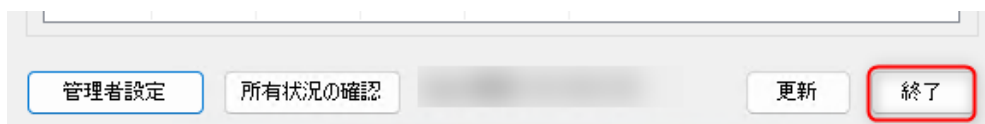
「Reread command sent to all servers」が表示されたら、RLM サーバーの再起動は完了です。



11. 再び[IjRlmManager 設定]ダイアログを開き、Failover Server エイリアス設定の管理画面を開き、9～10 の手順を繰り返します。

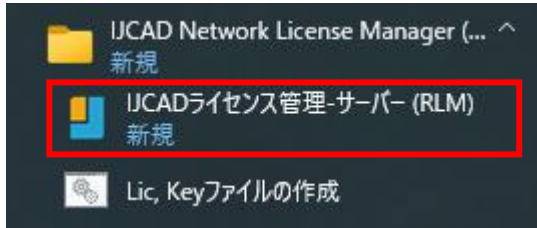


12. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログの右下の「終了」を押してダイアログを終了してください。



13. サーバーライセンス管理者ツールを起動します。

※起動方法は [Lic、Key ファイル作成時](#)の手順1をご確認ください。



14. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにライセンスが表示されたら完了です。

The image shows a dialog box titled 'IJCAD NWライセンス管理'. It has a tab labeled 'PrimaryServer'. Below the tab is a table with the following data:

製品名	契約数	使用数	借用数	可能数
IJCAD PRO	100	0	0	100
IJCAD STD	100	0	0	100
IJCAD LT	100	0	0	100

04

認証コードの発行

04-01 認証コードについて

クライアント PC で IJCAD を使用するためには、認証コードを発行し、各クライアント側にて認証コードを適用する必要があります。

認証コードを発行する前に、以下の内容を設定します。

設定箇所	内容
IjRlmManager 設定で設定	サーバー
	サーバーを参照するエイリアス
	ポート番号
	タイムアウト(分)
	ライセンス数超過時の挙動
認証コード発行時に設定	借用機能の権限

※ サーバー、エイリアス、ポート番号および借用機能の権限が変更された場合は、認証コードの再発行が必要となりますのでご注意ください。

04-02 IjRlmManager 設定

以下の手順でダイアログを開き、各項目を設定します。

1. サーバーライセンス管理者ツールの起動

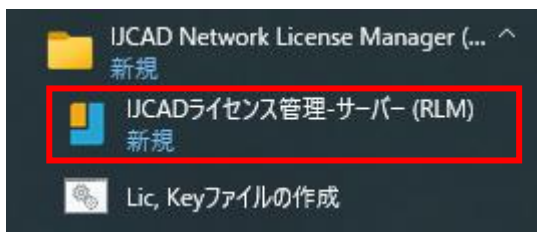
以下の手順にて[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログを開きます。

■Windows Server 2019、2022 の場合

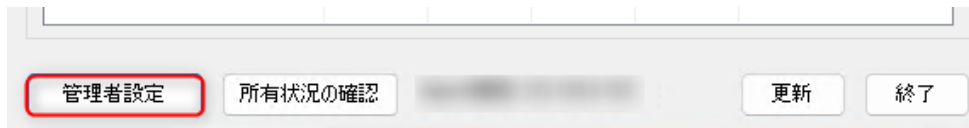
Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。

■Windows Server 2025 の場合

Windows のスタートメニューを開き、[すべてのアプリ]> [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。



2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



3. [IjRlmManager 設定]ダイアログが開くため、各項目を設定します。



◆ Primary Server 参照

ネットワークライセンスのセットアップ時に使用します。

すでに値が入っていれば、追加で設定する必要はありません。

◆ Primary Server エイリアス設定

クライアント PC から接続する際に使用する値を指定します。

以下の値が使用可能です。

- プライベート IP アドレス(初期値)
- サーバー名
 - クライアント PC とライセンスサーバーのネットワークセグメントが異なる場合は、クライアント PC の hosts ファイル上でサーバー名に対応する IP アドレスを記述しておく必要があります。
 - 同一セグメント上にある場合は、hosts ファイルへの設定は不要です。
- グローバル IP アドレス
- ドメイン名

◆ Failover Server エイリアス設定

※ 冗長構成ライセンスサーバーを使用時のみ設定します。

◆ Port 設定

使用するポート番号を表示します。

- API Port
- WEB Port
- ISV Port
- CM Port

※ポート値はデフォルト値の利用を推奨します。変更

設定変更方法は『08:ポート番号の変更について』をご確認ください。

◆ タイムアウト

タイムアウト(IJCAD の無操作時に、ライセンスを自動で回収する機能)を分単位で設定します。

タイムアウトを無効にする場合は「0」を設定します。

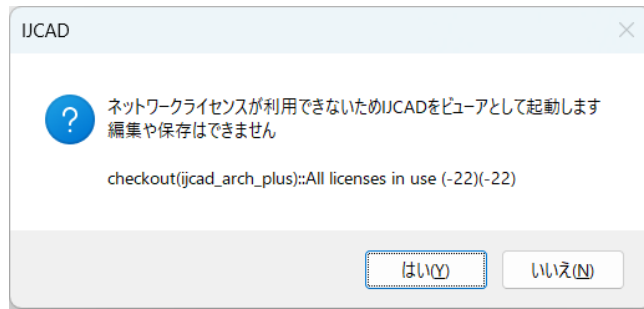
◆ IJCAD 起動時にライセンスが得られなかった時

IJCAD を起動時、ライセンス数の超過やネットワークの問題により

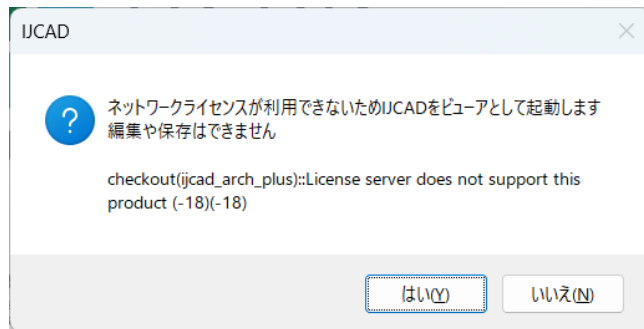
ライセンスが取得できなかった時の挙動を指定します。

- ビューアとして起動
 - ライセンスが取得できない場合は、期限切れの体験版として起動します。
 - ファイルの保存や書き出しはできませんが、ビューアとして使用が可能です。

- 許諾されたライセンス数を超過している時

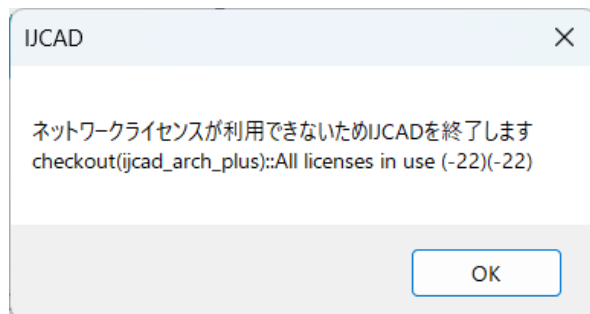


- ネットワークの問題で起動できなかった時



- メッセージを表示して、IJCAD を起動しない
ライセンスが取得できない場合は、IJCAD が起動せずに終了します。

- 許諾されたライセンス数を超過している時



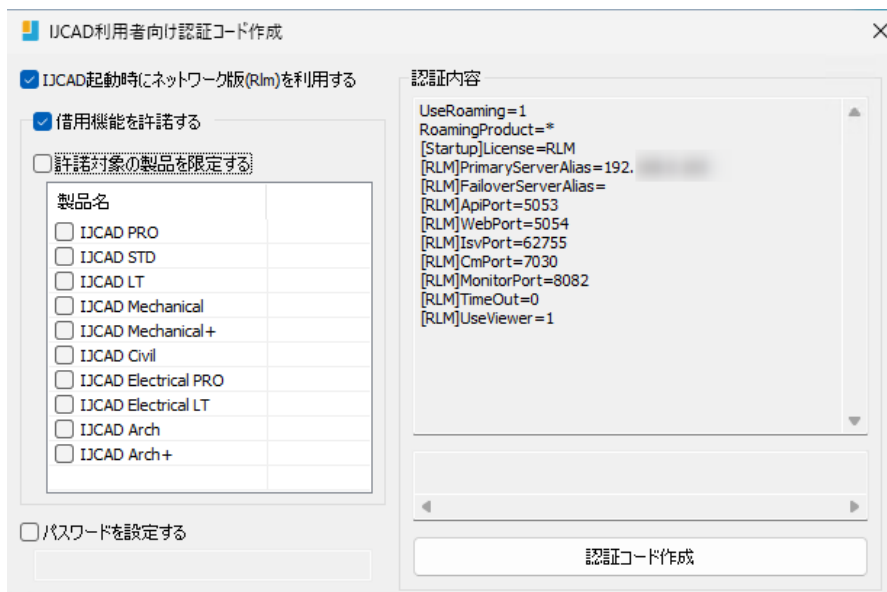
- ネットワークの問題で起動できなかった時



04-03 IJCAD 利用者向け認証コード作成

設定した内容を各クライアント PC 環境へ適用するため、「IJCAD 利用者向け認証コード」を発行します。認証コードの発行時は、IjRlmManager 設定の設定のほか、認証コードを使用するユーザーに IJCAD の借用を許諾するかどうかの設定を含めることができます。

1. IjRlmManager 設定の「IJCAD 利用者向け認証コード作成」をクリックします。
2. [IJCAD 利用者向け認証コード作成]ダイアログで、各設定を行います。

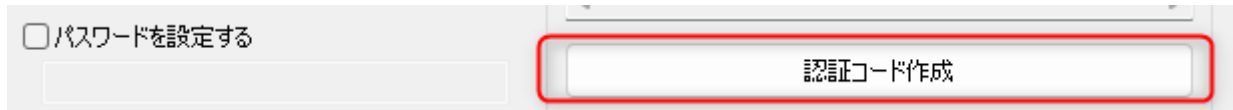


- IJCAD の起動時にネットワーク版(Rlm)を利用する
ネットワークライセンスを使用する場合はチェックします。
- 借用機能を許諾する
クライアント PC からのライセンスの借用を許諾するかどうかを設定します。
- 許諾対象の製品を限定する
クライアント PC のライセンスの借用を許諾する場合で、借用可能な製品を区別したい場合はチェックします。
※チェックしない場合は、全ての製品の借用を許諾することができます。
 - 製品名
借用を許諾したい製品にチェックします。

■ パスワードを設定する

クライアント PC での認証コードの適用時にパスワードの入力を必要にする場合は、チェックを入れて設定します。

3. 設定が完了したら、「認証コード作成」をクリックします。



4. デスクトップに「<12桁の数字>_IjRlm_ApplyCode.ijnw」ファイルが作成されます。利用者へ配布してください。

認証コードの適用方法は、[IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_IJCAD 利用者向けマニュアル]に記載しています。

◆ ini ファイルを使用してクライアント PC に適用する方法

クライアント PC で認証コードを直接的に適用せず、クライアント PC に ini ファイルを配置して適用する方法も可能です。

※ 異なる設定値を使用する場合は、設定を変更する度に ini ファイルも分ける必要がありますのでご注意ください。

「認証コード作成」をクリックすると、ini ファイルが上書きで更新されます。

1. 「認証コード作成」をクリックした後に、以下 2 つのファイルが生成されます。

- C:¥ProgramData¥IJCAD¥RLM¥IjcadStartupSetting.ini
- C:¥ProgramData¥IJCAD¥RLM¥IjRlmManager.ini

2. この 2 つのファイルを、IJCAD をインストールするときの「setup.exe」と同階層に置きます。

名前	種類	サイズ
data1.cab	キャビネットファイル	184,499 KB
IJCAD 2024 Standard 64bit版 サブスクリプシ...	Windows インストー...	16,315 KB
IjcadStartupSetting.ini	構成設定	1 KB
IjRlmManager.ini	構成設定	2 KB
ISSetup.dll	アプリケーション拡張	3,064 KB
setup.exe	アプリケーション	17,736 KB

3. 「setup.exe」を実行してインストールすると、クライアント PC に設定を反映させることが可能です。

※ 既にクライアント PC に以下 2 つのファイルが存在していた場合は、
上記の手順を実行しても上書きされません。

該当のファイルを一旦削除してから実行してください

- C:\ProgramData\IJCAD\RLM\IjcadStartupSetting.ini
- C:\ProgramData\IJCAD\RLM\IjRlmManager.ini

◆ 認証コードについての補足

認証コードは、設定値で共通のコードです。

全く同じ設定であれば、適用するクライアント PC を問わず認証コードを使いまわす事が可能です。

(※ 借用の許諾を限定する製品が異なれば、別のコードが必要になります。)

例)

IJCAD の借用に許諾しない全てのユーザーに、下図のように設定して発行した認証コードを適用

05

ライセンス期間の更新方法

サブスクリプションの契約更新後、引き続きライセンスをご利用いただくには更新後のライセンスにてサーバーへアクティベーションが必要です。

更新期間後の開始日前までにサーバー側のライセンスの認証をお願いいたします。
ライセンス認証を行わない場合、更新前満了日を過ぎると CAD を起動できなくなります。
アクティベーションファイルの発行には 2~3 営業日お時間をいただく場合がございますので、余裕をもって認証のお申込みをお願いします。

05-01 ライセンス期間の更新方法

ご利用のサーバー構成(シングルサーバー、冗長型サーバー)に合わせて、下記項目をご参照いただきライセンスの登録作業を行ってください。

シングルサーバー

- ◆ [ライセンスのアクティベーション申請](#)
- ◆ [ライセンスの適用の手順](#)

冗長型サーバー

- ◆ [ライセンスのアクティベーション申請](#)
- ◆ [ライセンスの適用の手順](#)

更新したサブスクリプションの開始日以降、ライセンスがご利用いただけます。

契約期間開始前のライセンスは、
認証しても[IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログではライセンス数が増加しません。
アクティベーションが完了いたしましたら、
[IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログ>所有状況の確認をクリックし、
認証したライセンスが記載されているかご確認ください。

サブスクリプション更新したライセンスは、「シリアルキー」が更新前のライセンスと同一です。
アクティベーション後、認証コードの発行、クライアント機側への認証コードの再読込は必要ありません。

06

ライセンスの移行

ネットワークライセンスマネージャー(RLM)において、別のマシンへのライセンスの移動、OS の入れ替え等によりサーバー環境が変更となる場合、ライセンスを一旦返却していただいた後、再度アクティベーションを行っていただく必要があります。

使用するライセンスサーバーの構成に合わせて、以下のいずれかの手順を参考にセットアップします。

◆ シングルライセンスサーバー同士の移行

現在のサーバーにてライセンス返却を行ってから、再度ライセンスの発行を依頼してください。

1. [シングルライセンスサーバーの返却](#)
2. [シングルライセンスサーバーのライセンス登録](#)

◆ シングルライセンスサーバーから冗長構成ライセンスサーバーへの移行

先にシングルライセンスサーバーにてライセンス返却を行ってから、冗長構成のライセンスサーバーにてライセンスの発行を依頼してください。

1. [シングルライセンスサーバーの返却](#)
2. [冗長構成ライセンスサーバーのライセンス登録](#)

◆ 冗長構成ライセンスサーバーから冗長構成ライセンスサーバーへの移行

1. [冗長構成ライセンスサーバーの返却](#)
2. [冗長構成ライセンスサーバーのライセンス登録](#)

06-01 シングルライセンスサーバーの返却

返却は、ライセンスサーバーに登録されている全てのライセンスに対して行われます。以下の手順で返却を行います。

1. 返却の申請
2. 返却の適用

◆ 返却の申請

1. サーバーライセンス管理者ツールの起動

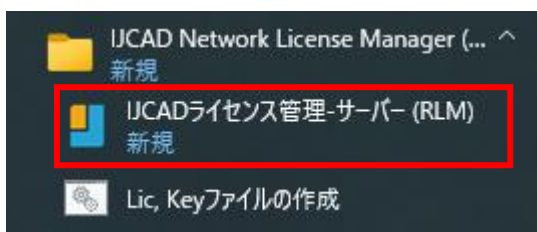
以下の手順にて[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログを開きます。

■Windows Server 2019、2022 の場合

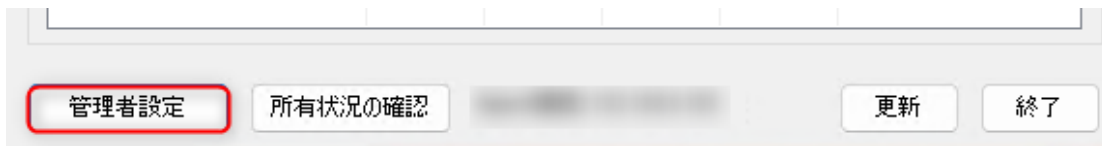
Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。

■Windows Server 2025 の場合

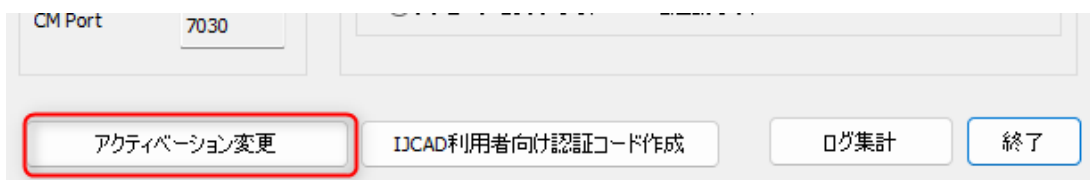
Windows のスタートメニューを開き、[すべてのアプリ]> [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。



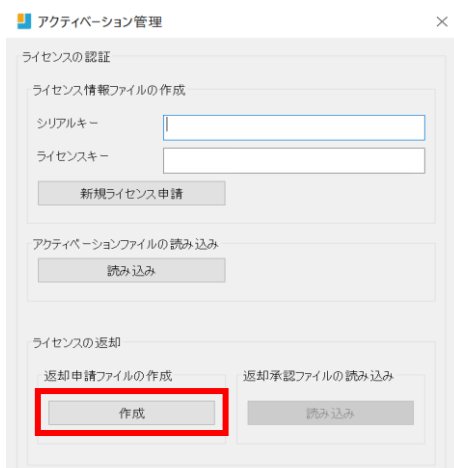
2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



3. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、「アクティベーション変更」をクリックします。



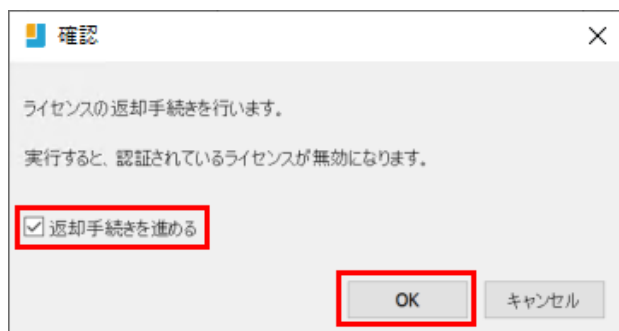
4. [アクティベーション管理]ダイアログが表示されるため、[返却申請ファイルの作成]欄の「作成」をクリックします。



5. [確認]ダイアログが表示されます。

返却手続きへ進むと、現在サーバー内に認証されているライセンスが無効になります。

問題なければ[返却手続きを進める]にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



6. デスクトップに返却申請用のライセンス情報ファイルが作成されます。

ファイル名:<シリアルキー>_ijrlm_request_return.ijnw

メールにて、ファイルと共に以下の内容をお送りください。

- 会社名
- ご担当者様名
- 電話番号
- シリアルキー
- ライセンスキー
- ライセンス数

以上をメール本文にご記入の上、保存した返却申請ファイルを添付して

activation.support@systemmetrix.jp までお送りください

ご申請後は、返信をお待ちください。

※ 混雑状況によって、ご返信に 2～3 営業日お時間をいただく場合がございます。

◆ 返却の適用

1. ライセンス返却承認メールを受け取り次第、ライセンスの返却を行います。

お送りしたメールの下部にあるリンク（署名の下の部分）をクリックすると、返却承認ファイルがダウンロードされます。

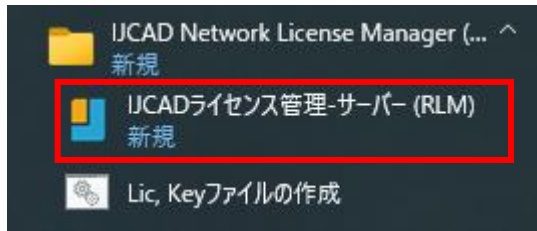
ファイル名:『 <シリアルキー>_ijrlm_response_return.ijnw』

```
*****
IJCADライセンスサポート窓口
URL: https://support.ijcad.jp/hc/ja
本件に関するお問い合わせ: activation.support@systemmetrix.jp
*****
```

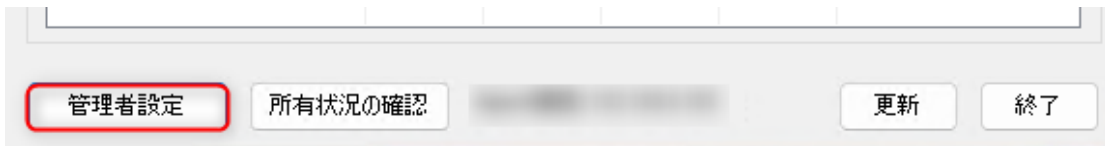
添付ファイル

[_ijrlm_response_return.ijnw](#)

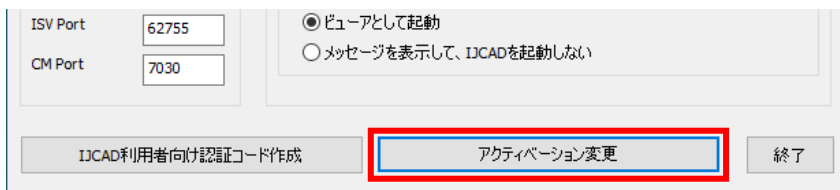
2. サーバーライセンス管理者ツールを起動します。
起動方法は[申請時の手順1](#)をご確認ください。



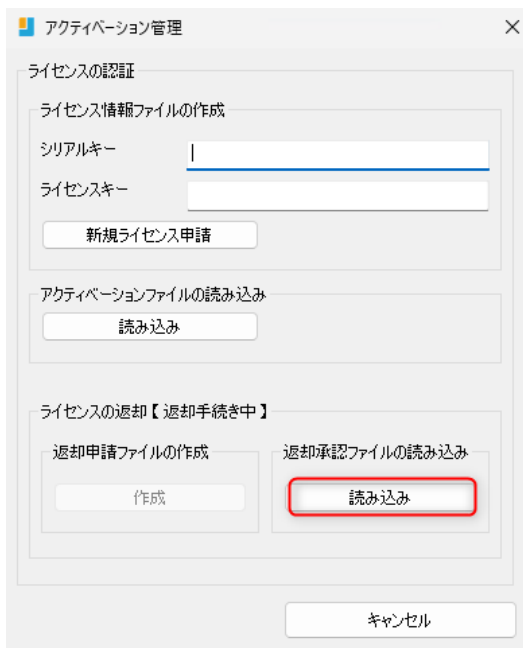
3. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



4. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、「アクティベーション変更」をクリックします。

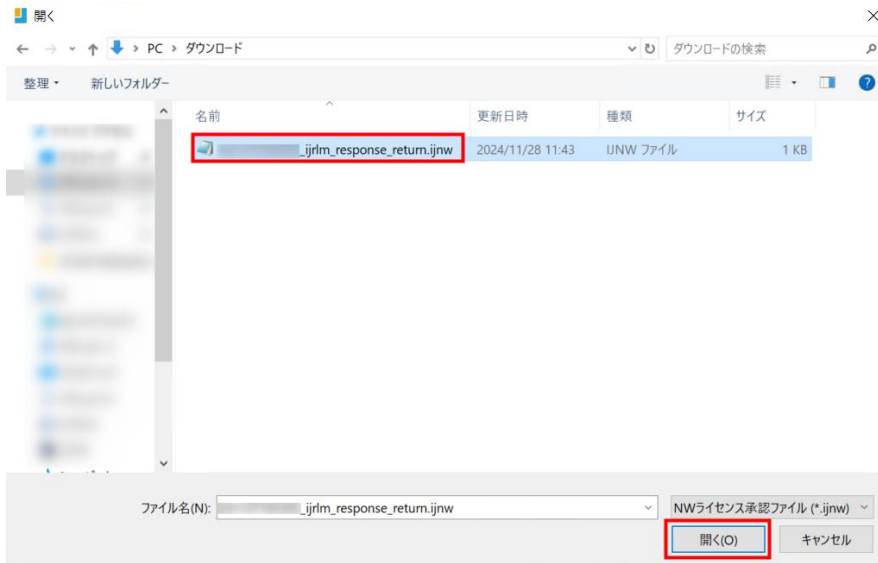


5. [アクティベーション管理]ダイアログが表示されるため、[返却承認ファイルの読み込み]下の「読み込み」をクリックします。

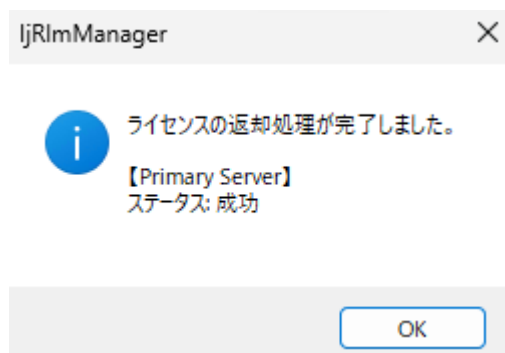


6. 受領した返却承認ファイルを参照し、読み込みます。

ファイル名: <シリアルキー>_ijrlm_response_return.ijnw



7. 「ライセンスの返却が完了しました。」のメッセージが表示されます。

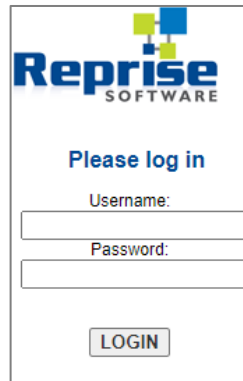


8. [アクティベーション管理]ダイアログは「キャンセル」をクリックして[IjRlmManager 設定]ダイアログに戻り、[PrimaryServer エイリアス設定]の横の「管理画面」をクリックします。



9. RLM の WEB ブラウザが開きますので、ログイン情報を入力します。

- Username: **admin**
- Password: **なし(初期値)**



The image shows a login form for Reprise Software. At the top is the Reprise Software logo. Below it, the text 'Please log in' is displayed. There are two input fields: 'Username:' and 'Password:'. The 'Username:' field contains the text 'admin'. Below the input fields is a 'LOGIN' button.

※ 初回ログイン以降、お客様でパスワードを設定することを推奨します。

設定の手順については、

[IJCAD ネットワークライセンス(RLM) 運用マニュアル_サーバー管理者向け]の「RLM(WEB ブラウザ)について」>「ログイン設定」をご参照ください。

※ 既定のブラウザが Internet Explorer の場合、

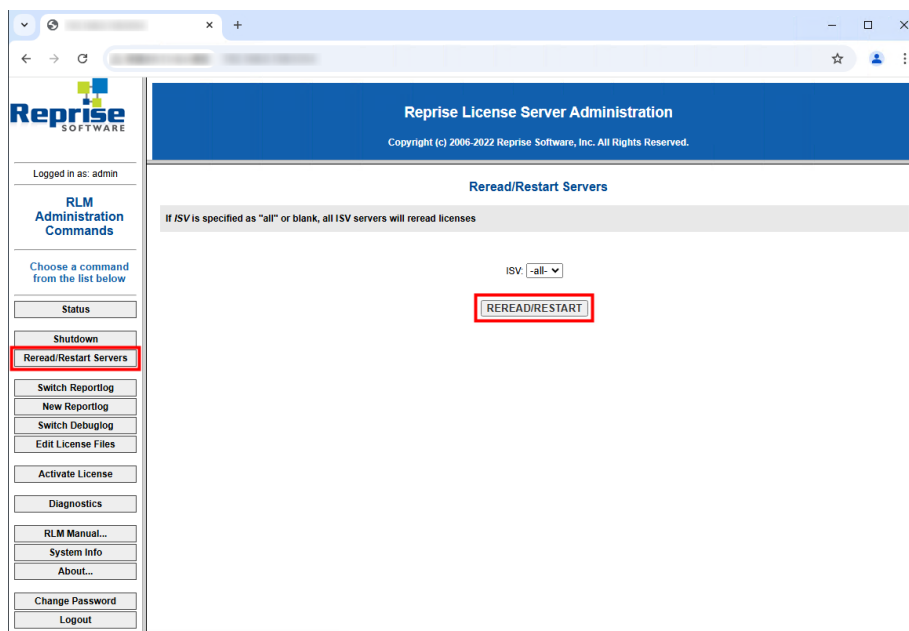
RLM の WEB ブラウザが正しく表示されない場合があります。

Google Chrome または Microsoft Edge をご利用ください。

10. RLM サーバーを再起動します。

左部メニューから「Reread/Restart Servers」を選択し、「REREAD/RESTART」をクリックします。画面が切り替わるまでしばらくお待ちください。

「Reread command sent to all servers」が表示されたら、RLM サーバーの再起動は完了です。



06-02 冗長構成ライセンスサーバーの返却

返却は、ライセンスサーバーに登録されている全てのライセンスに対して行われます。

以下の手順で返却を行います。

1. 冗長構成の返却の申請
2. 冗長構成の返却の適用

◆ 冗長構成の返却の申請

1. サーバーライセンス管理者ツールの起動

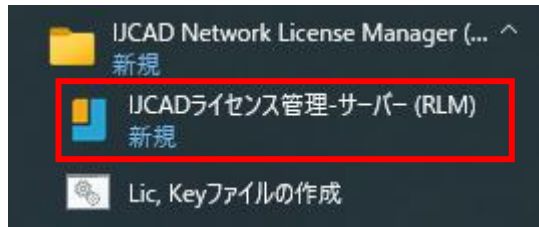
以下の手順にて[ネットワーク ライセンス管理]ダイアログを開きます。

■Windows Server 2019、2022 の場合

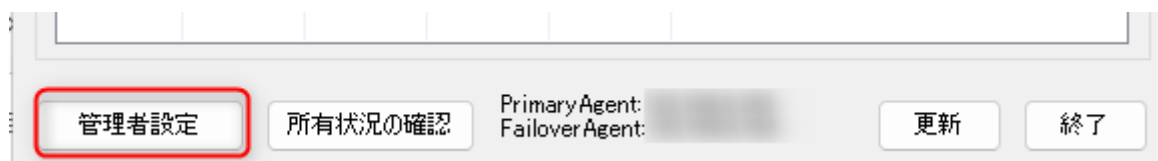
Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。

■Windows Server 2025 の場合

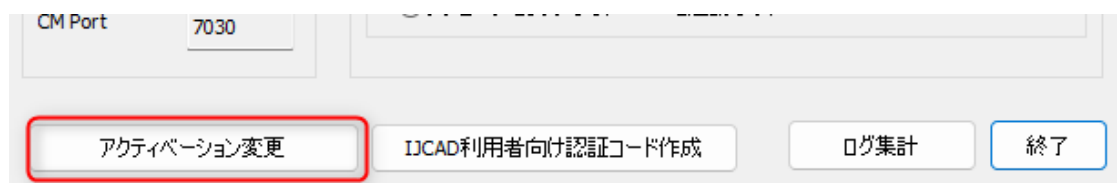
Windows のスタートメニューを開き、[すべてのアプリ]> [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] をクリックします。



2. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



3. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、「アクティベーション変更」をクリックします。



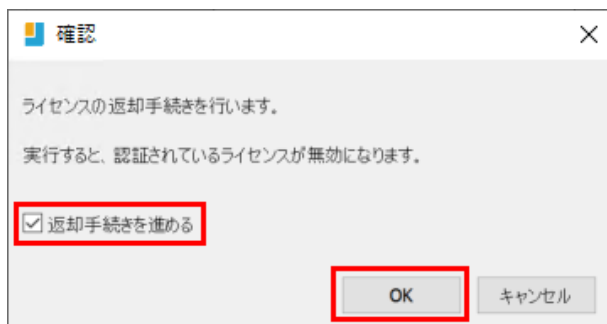
4. [アクティベーション管理]ダイアログが表示されるため、[返却申請ファイルの作成]欄の「作成」をクリックします。



5. [確認]ダイアログが表示されます。

返却手続きへ進むと、現在サーバー内に認証されているライセンスが無効になります。

問題なければ[返却手続きを進める]にチェックを入れ、「OK」をクリックします。



6. デスクトップに返却申請用のライセンス情報ファイルが作成されます。

ファイル名:<シリアルキー>_ijrlm_request_return.ijnw

メールにて、ファイルと共に以下の内容をお送りください。

- 会社名
- ご担当者様名
- 電話番号
- シリアルキー
- ライセンスキー
- ライセンス数

以上をメール本文にご記入の上、保存した返却申請ファイルを添付して

activation.support@systemmetrix.jp までお送りください

ご申請後は、返信をお待ちください。

※ 混雑状況によって、ご返信に 2～3 営業日お時間をいただく場合がございます。

◆ 冗長構成の返却の適用

1. ライセンス返却承認メールを受け取り次第、ライセンスの返却を行います。
お送りしたメールの下部にあるリンク（署名の下の部分）をクリックすると、返却承認ファイルがダウンロードされます。

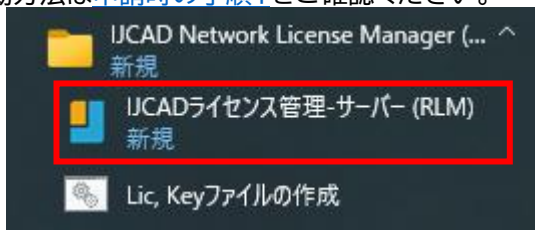
ファイル名: 『 <シリアルキー> _ijrlm_response_return.ijnw 』

```
*****
IJCADライセンスサポート窓口
URL: https://support.ijcad.jp/hc/ia
本件に関するお問い合わせ: activation.support@systemmetrix.jp
*****
```

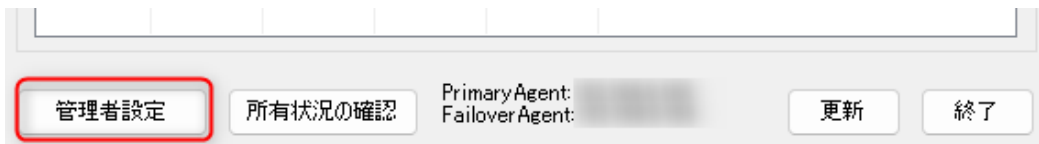
添付ファイル

[_ijrlm_response_return.ijnw](#)

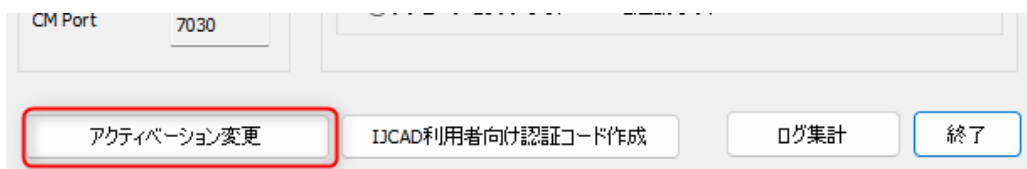
2. サーバーライセンス管理者ツールの起動
起動方法は**申請時の手順1**をご確認ください。



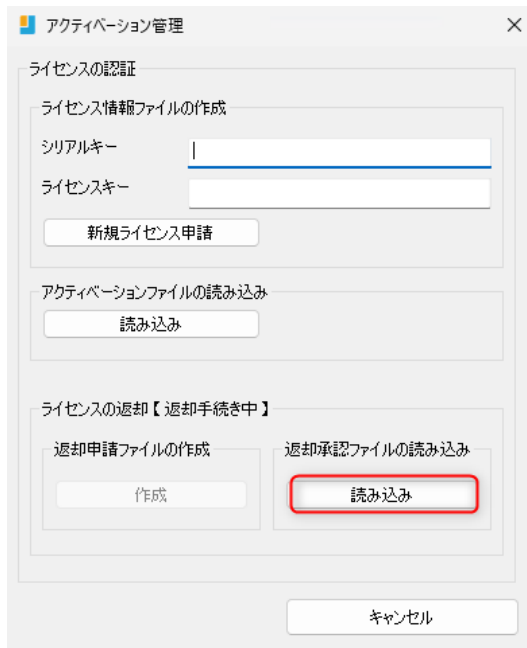
3. [IJCAD NW ライセンス管理]ダイアログにて、「管理者設定」をクリックします。



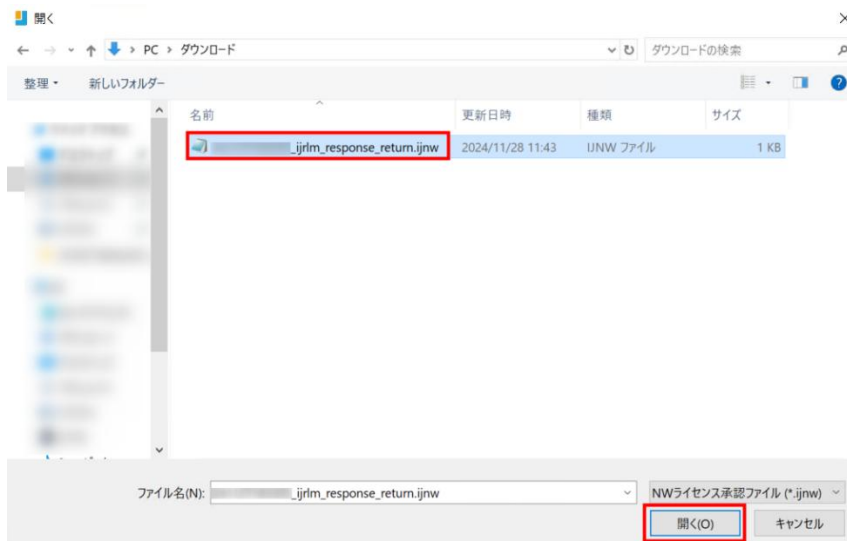
4. [IjRlmManager 設定]ダイアログにて、「アクティベーション変更」をクリックします。



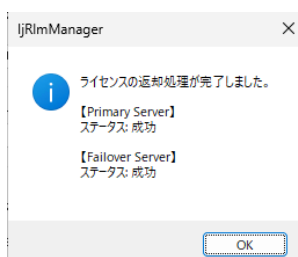
5. [アクティベーション管理]ダイアログが表示されるため、[返却承認ファイルの読み込み]下の「読み込み」をクリックします。



6. 受領した返却承認ファイルを参照し、読み込みます。
ファイル名:<シリアルキー>_ijrlm_response_return.ijnw



7. 「ライセンスの返却が完了しました。」のメッセージが表示されます。



8. [アクティベーション管理]ダイアログは「キャンセル」をクリックして[IjRlmManager 設定]ダイアログに戻り、[PrimaryServer エイリアス設定]の横の「管理画面」をクリックします。



9. RLM の WEB ブラウザが開きますので、ログイン情報を入力します。

➤ Username: **admin**

➤ Password: **なし(初期値)**

※ 初回ログイン以降、お客様でパスワードを設定することを推奨します。

設定の手順については、

[IJCAD ネットワークライセンス(RLM)_運用マニュアル_サーバー管理者向け]の「RLM(WEB ブラウザ)について」>「ログイン設定」をご参照ください。

※ 既定のブラウザが Internet Explorer の場合、

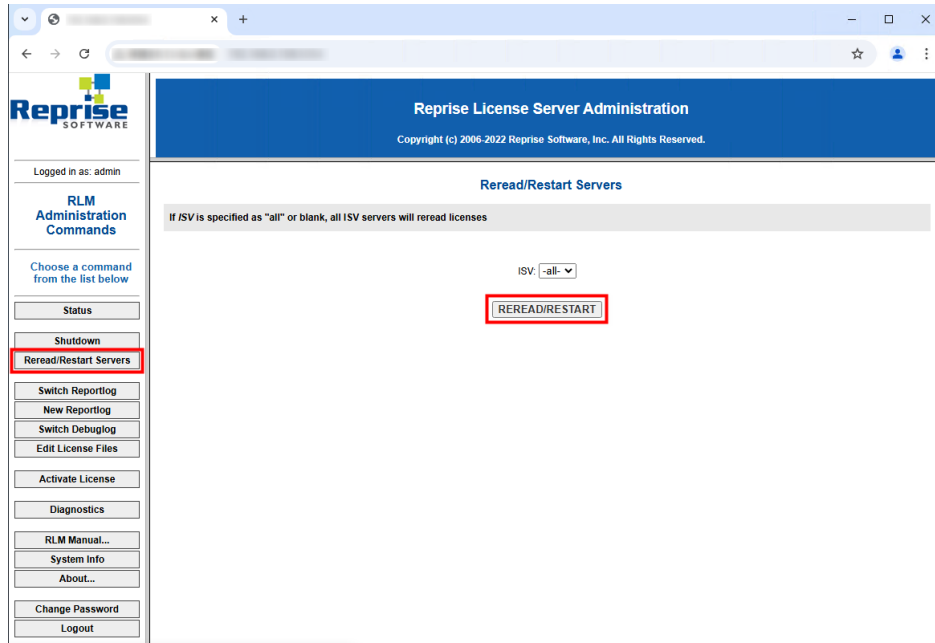
RLM の WEB ブラウザが正しく表示されない場合があります。

Google Chrome または Microsoft Edge をご利用ください。

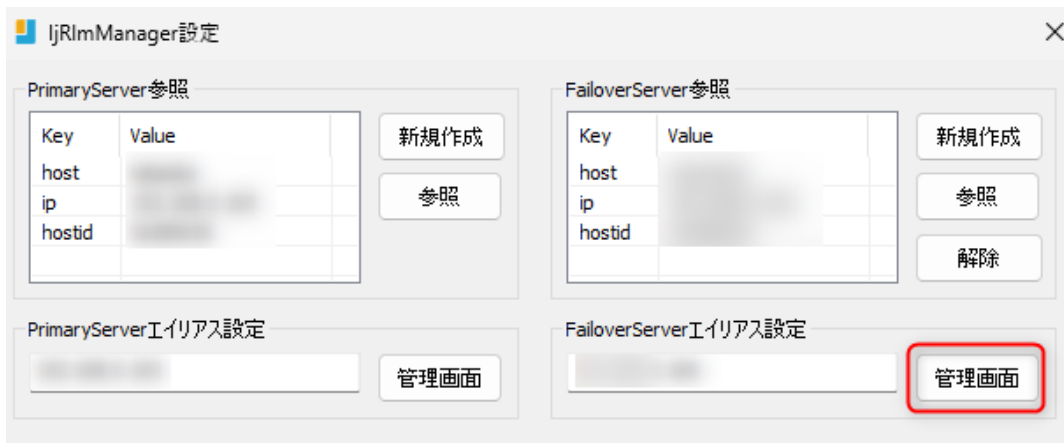
10. RLM サーバーを再起動します。

左部メニューから「Reread/Restart Servers」を選択し、「REREAD/RESTART」をクリックします。画面が切り替わるまでしばらくお待ちください。

「Reread command sent to all servers」が表示されたら、RLM サーバーの再起動は完了です。



11. 再び[IjRlmManager 設定]ダイアログを開き、Failover Server エイリアス設定の管理画面を開き、9～10 の手順を繰り返します。



07

プログラムのアンインストール

07-01 アンインストール前の注意

アンインストールを開始する前に、以下の定義ファイルのバックアップをとってください。
アンインストール操作によってこれらのファイルが消失することはありませんが、
万が一のためにバックアップをとることを推奨しています。

- lic ファイル(「IjRlmLicense_<ホスト名>.lic」)
- Key ファイル(「IjRlmHostInfo_<ホスト名>.key」)
- Ini ファイル(「C:¥ProgramData¥IJCAD¥RLM¥IjcadStartupSetting.ini」
「C:¥ProgramData¥IJCAD¥RLM¥IjRlmManager.ini」)

バックアップはインストールフォルダ以外の場所に保存してください。

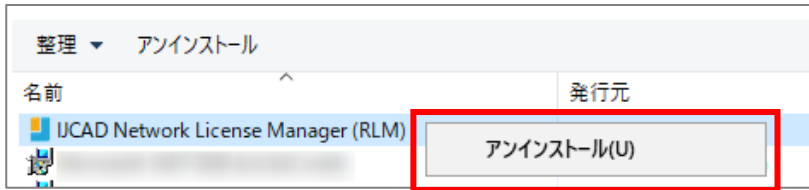
- ※ IJ モニタリングを利用している場合は、事前にサービスを停止しておく必要があります。
(サービスの停止方法は、IJ モニタリングのマニュアルをご参照ください。)
- ※ アンインストール時に、RLM サービスの停止/削除が行われます。
他社製品のライセンスマネージャにて RLM を使用している場合は、
該当製品において再度 RLM サービスの登録/起動を行う必要があります。

07-02 アンインストール手順

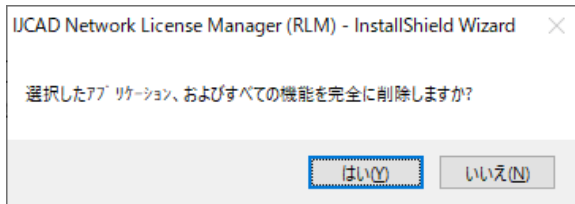
1. コントロールパネルを開き、[プログラムのアンインストール]を選択します。



- リストより[IJCAD Network License Manager (RLM)]を選択した状態でマウスを右クリックし、表示されるメニューから[アンインストール]をクリックします。



- インストーラが起動し、確認のメッセージが表示されますので[はい]をクリックします。



- アンインストール完了です。
「完了」をクリックして、ダイアログを閉じます。

08

ポート番号の変更について

ポートについてはデフォルト値でのご利用を推奨しておりますが、必要な場合は下記手順にて変更をしてください。

各ポート、1024～65535 のうちいずれか 1 つご利用ください。

ポート変更を行う場合、下記ログファイルがリセットされることがございます。

念のため作業前にはバックアップとして保存いただくことをおすすめいたします。

- ・server.log
- ・smatrix.dlog

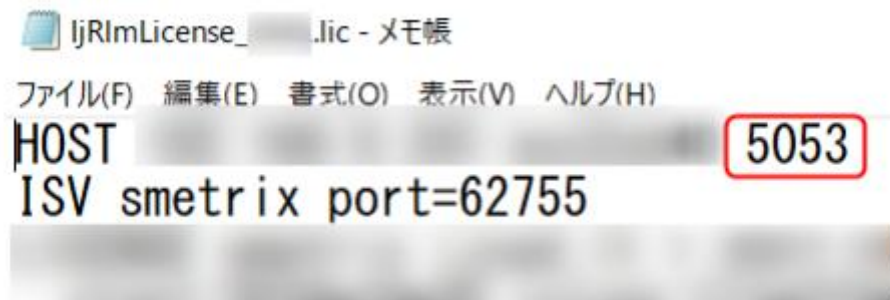
ログファイルは、RLM の設定や利用状況が記録されるファイルです。

初回のセットアップでポート変更される場合は保存の必要はありません。

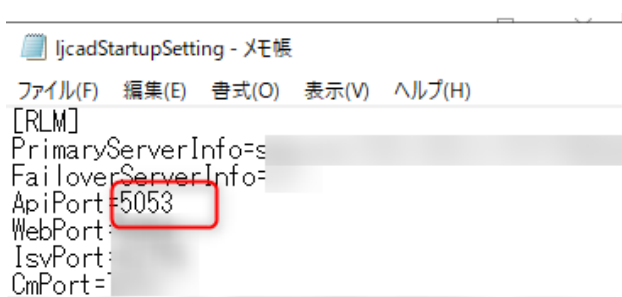
08-01 ポート番号の変更手順

◆API ポート(デフォルト:5053)

1. インストールフォルダに作成された IjRlmLicense_<ホスト名>.lic ファイルをテキストエディタで開いてください。
2. 「HOST <IP アドレス> <hostID> <Port>」の<Port>部分を、1024～65535 の間の任意の値に設定して上書き保存してください。



3. “C:¥ProgramData¥IJCAD¥RLM¥IjcadStartupSetting.ini” ファイルをテキストエディタで開き、「ApiPort=」の値を 2. で設定した値と同様に変更し、上書き保存してください。



4. タスクマネージャーを起動し、「サービス」タブより「RLM」を右クリックし、再起動してください。
5. Windows のスタートメニューを開き、[IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] > [IJCAD NW ライセンス管理] > 「管理者設定」をクリックし、[IjRlmManager 設定]ダイアログにてポート番号が変更となっているか確認してください。

※ フェイルオーバー構成の場合は、同じポート番号を使用し、フェイルオーバーサーバー側で 2. ～ 5. の手順を繰り返してください。

◆WEB ポート(デフォルト:5054)

1. タスクマネージャーを起動し、「サービス」タブより「RLM」を右クリックし、停止してください。
2. インストールパスの “IjRlmUnInstallService.bat” をダブルクリックで実行してください。
3. インストールパスの “IjRlmInstallService.bat” をテキストエディタで開き、「 -ws ****」(****はポート番号)を追記して保存します。ポート番号は 1024～65535 の間の任意の値をご入力ください。

(例)



```

IjRlmInstallService - コピー.bat - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
@echo off
cd /d "%~dp0"
rlm -install_service -ws 27004 -dlog +server.log
sc start rlm

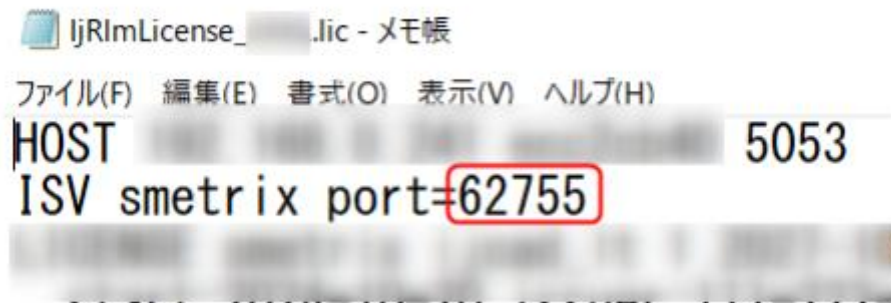
```

4. “C:¥ProgramData¥IJCAD¥RLM¥IjcadStartupSetting.ini” ファイルを開き、「WebPort =」の値を 2. で設定した値と同様に変更し、保存してください。
5. 3. で編集した ”IjRlmInstallService.bat” を手動で実行してください。
6. [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] > [IJCAD NW ライセンス管理] > 「管理者設定」をクリックし、[IjRlmManager 設定]ダイアログにてポート番号が変更となっているか確認してください。

※フェイルオーバー構成の場合、同じポート番号を使用し、フェイルオーバーサーバー側で 2. ～ 6. の手順を繰り返してください。

◆ISV ポート(デフォルト:62755)

1. インストールパスに作成された 「****.lic」ファイルを開きます。(****はサーバー 名)
2. 「ISV smetrix port=」の部分、1024～65535 の間の任意の値に設定して保存してください。



3. “C:\ProgramData\IJCAD\RLM\IjcadStartupSetting.ini” ファイルを開き、「IsvPort=」の値を 2. で設定した値と同様に変更し、保存してください。
4. タスクマネージャーを起動し、「サービス」タブより「RLM」を右クリックし、再起動してください。
5. [IJCAD Network License Manager (RLM)] > [IJCAD ライセンス管理-サーバー (RLM)] > [IJCAD NW ライセンス管理] > 「管理者設定」をクリックし、[IjRlmManager 設定]ダイアログにてポート番号が変更となっているか確認してください。

※ フェイルオーバー構成の場合は、同じポート番号を使用し、フェイルオーバーサーバー側で 2. ～ 5. の手順を繰り返してください。

◆CM ポート(デフォルト:7030)

1. インストールパスに作成された「IjRlmAgent.ini」ファイルを開き、「CmPort=」の値を 1024～65535 の間の任意の値に設定して保存してください。
2. “C:\ProgramData\IJCAD\RLM\IjcadStartupSetting.ini” ファイルを開き、「CmPort=」の値を 2. で設定した値と同様に変更し、保存してください。
3. タスクマネージャーを起動し、「サービス」タブより「IjRlmAgent」を右クリックし、再起動してください。